様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	吉田学園情報ビジネス専門学校
設置者名	学校法人吉田学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｸﾞﾗﾌｨｯｸｽ学科	夜・通信	270 時間	160 時間	
	ｹﾞｰﾑｽﾍﾟｼｬﾘｽﾄ学科	夜・通信	300 時間	240 時間	
	ｹﾞｰﾑ学科	夜・通信	315 時間	160 時間	
	ＡＩｼｽﾃﾑ学科	夜・通信	180 時間	160 時間	
	情報ｼｽﾃﾑ学科	夜・通信	225 時間	160 時間	
	DX ｴﾝｼﾞﾆｱ学科	夜・通信	240 時間	240 時間	
	ｹﾞｰﾑｸﾘｴｲﾀｰ学科	夜・通信	240 時間	240 時間	
	ｹﾞｰﾑｴﾝｼﾞﾆｱ学科	夜・通信	270 時間	240 時間	
	CG 学科	夜・通信	240 時間	240 時間	

（備考）

○令和５年４月１日 学科名称・修業年限（２年制→３年制）変更

・コンピュータグラフィックス学科（新名称：CG 学科）

・ゲーム学科（新名称：ゲームエンジニア学科）

・ＡＩシステム学科（新名称：ＤＸエンジニア学科）

○令和５年４月１日 学科名称変更

・ゲームスペシャリスト学科（新名称：ゲームクリエイター学科）

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://yoshida-g.ac.jp/disclosure/jobi/

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	吉田学園情報ビジネス専門学校
設置者名	学校法人吉田学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

学校法人吉田学園ホームページ https://yoshida-g.gr.jp/johokokai/

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	(株)ほくていホールディングス取締役会長	自令和 5 年 4 月 14 日 至令和 7 年 4 月 13 日	経営企画及び管理
非常勤	サツドラ ホールディングス（株） 代表取締役会長	自令和 5 年 4 月 14 日 至令和 7 年 4 月 13 日	経営企画及び管理
非常勤	（株）ムラタ 代表取締役会長	自令和 5 年 4 月 14 日 至令和 7 年 4 月 13 日	経営企画及び管理
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	吉田学園情報ビジネス専門学校
設置者名	学校法人吉田学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） 各科目担当者より授業目的、到達目標、使用テキスト、評価方法と基準、回数ごとの履修主題と内容を記載した授業計画（シラバス）案の提出を受け、学科会議にて認定を行う。 認定後に作成した授業計画（シラバス）と成績評価までの流れが理解できる履修のプロセスフローを学生に入学時に配布し公表をしている。	
授業計画書の公表方法	https://yoshida-g.ac.jp/disclosure/jobi/
２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要） 授業計画（シラバス）に科目ごと評価方法、基準が明記されており、評価試験、レポート、小テスト、提出物、その他（授業態度等）にて適正に評価を行っている。 各科目担当教員における成績の評価は 100 点満点とし、点数により A～D に分類、うち A～C を合格とし履修を認定している。 評価方法は定期試験、課題並びに学習活動等を総合的に勘案して行う。 「学則」及び「学則施行細則（教務内規）」に即し、以下、所定の時期に実施される各種判定会議において、学修成果を厳格かつ適正に評価し、校長の決裁で履修を認定する。 ・前期成績判定会議（9 月下旬　全学生） ・卒業判定会議（3 月上旬　卒業対象学生） ・進級判定会議（3 月下旬　進級対象学生）	
３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要） 成績管理システムを活用し、学科及び学年ごとの成績を基に人数分布表を作成し学生へ提示することで、自身の相対的な位置を把握し、学習意欲の高揚を促す対応を行っている。クラス担任制を導入し、早期段階での注意喚起と上長職による更なる段階的指導を行うことで組織的な支援を行っている。 学習成績を年 2 回、学校新聞を年 3 回発送し、学校生活の状況報告や成果報告を行っている。	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	https://yoshida-g.ac.jp/disclosure/jobi/

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） 学則の他、卒業認定方針について定めた「学則施行規則（教務内規）」を学内全職員が参加する職員会議にて作成・承認される。学則とともに学生便覧へ明記し入学時に学生へ配布、提示している。 卒業の認定については、3 月上旬に実施される卒業判定会議において、学修成果を厳格かつ適正に評価し履修を認定したうえで、以下を満たした場合に校長が卒業の認定または、課程の修了の決裁をしている。 ・授業料等の納入金が全納されていること ・各学科における所定の授業時間数を履修し、当該課程を修了したとき 「卒業の認定、課程の修了」の公表は、担任等から当該学生に通達される。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://yoshida-g.ac.jp/disclosure/jobi/

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	吉田学園情報ビジネス専門学校
設置者名	学校法人吉田学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://yoshida-g.gr.jp/johokokai/
収支計算書又は損益計算書	https://yoshida-g.gr.jp/johokokai/
財産目録	https://yoshida-g.gr.jp/johokokai/
事業報告書	https://yoshida-g.gr.jp/johokokai/
監事による監査報告（書）	https://yoshida-g.gr.jp/johokokai/

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
工業分野	専門課程	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｸﾞﾗﾌｨｯｸｽ学科	○	―

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼間	1,890 時間 単位時間／単位	930 単位時間/単位	1,500 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			2,430 単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
６０人	５６人	１人	２人	３人	５人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
【様式第２号の３より再掲】 各科目担当者より授業目的、到達目標、使用テキスト、評価方法と基準、回数ごとの履修主題と内容を記載した授業計画（シラバス）案の提出を受け、学科会議にて認定を行う。 認定後に作成した授業計画（シラバス）と成績評価までの流れが理解できる履修のプロセスフローを学生に入学時に配布し公表をしている。
成績評価の基準・方法
【様式第２号の３より再掲】 授業計画（シラバス）に科目ごと評価方法、基準が明記されており、評価試験、レポート、小テスト、提出物、その他（授業態度等）にて適正に評価を行っている。 各科目担当教員における成績の評価は 100 点満点とし、点数により A～D に分類、うち A～C を合格とし履修を認定している。 評価方法は定期試験、課題並びに学習活動等を総合的に勘案して行う。 「学則」及び「学則施行細則（教務内規）」に即し、以下、所定の時期に実施される各種判定会議において、学修成果を厳格かつ適正に評価し、校長の決裁で履修を認定する。 ・前期成績判定会議（9 月下旬　全学生） ・卒業判定会議（3 月上旬　卒業対象学生） ・進級判定会議（3 月下旬　進級対象学生）

卒業・進級の認定基準
【様式第２号の３より再掲】 学則の他、卒業認定方針について定めた「学則施行規則（教務内規）」を学内全職員が参加する職員会議にて作成・承認される。学則とともに学生便覧へ明記し入学時に学生へ配布、提示している。 卒業の認定については、3 月上旬に実施される卒業判定会議において、学修成果を厳格かつ適正に評価し履修を認定したうえで、以下を満たした場合に校長が卒業の認定または、課程の修了の決裁をしている。 ・授業料等の納入金が全納されていること ・各学科における所定の授業時間数を履修し、当該課程を修了したとき 「卒業の認定、課程の修了」の公表は、担任等から当該学生に通達される。
学修支援等
クラス担任制をとり早期段階で注意喚起、面接指導を実施。必要に応じ保護者との三者面談を通し学習意欲の向上を促す。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
３１人 （100%）	０人 （0%）	２７人 （87.1%）	４人 （12.9%）
（主な就職、業界等） ㈱ＥＮＧＩ/㈱Ｄ１/㈱ウタリカ/㈱武右ェ門/東映㈱デジタルセンターツークン研究所/㈱アレクト/㈱インファイト/㈱セガ札幌スタジオ/ J’s㈱/㈱ダイノゲームズ/㈱サンジゲン/㈱ジースタイル/㈱エイティング/㈱ＭＡＰＰＡ			
（就職指導内容） クラス担任と就職担当者の連携により、業界研究・ポートフォリオ指導・エントリー指導・面接指導等を実施。また学校全体として実施の就職イベントに参加してモチベーション向上を図り就職活動を促す。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ＣＧクリエイター検定ベーシック　２８名受験　１６名合格			
（備考）（任意記載事項） ○令和５年４月１日 学科名称・修業年限（２年制→３年制）変更 （新名称：CG 学科）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
５７人	３人	５．３％
（中途退学の主な理由） 病気、学校生活不適応		
（中退防止・中退者支援のための取組） （学業不振者） 単位未取得になる可能性が高い者には補填授業等を行い、未取得者を増加させない取り組みをしている。 （その他） クラス担任等が細目に学生個々人に目を配り、生活の変化があった場合にはすぐに個別面談等を行う等、怠惰な学生を減少させる取組をしている。 外部機関へ委託のうえオンライン健康相談サービスを実施。心理士や精神科医が、学生の悩みへの対応を図っている。		

<table>
<tr><td colspan="2">分野</td><td>課程名</td><td colspan="2">学科名</td><td>専門士</td><td>高度専門士</td></tr>
<tr><td colspan="2">工業分野</td><td>専門課程</td><td colspan="2">ｹﾞｰﾑｽﾍﾟｼｬﾘｽﾄ学科</td><td>○</td><td>―</td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td rowspan="2">全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数</td><td colspan="5">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td>実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3年</td><td rowspan="2">昼間</td><td rowspan="2">2,835時間
単位時間／単位</td><td>810
単位時間
/単位</td><td>2,490
単位時間
/単位</td><td>単位時間
/単位</td><td>単位時間
/単位</td><td>単位時間
/単位</td></tr>
<tr><td colspan="5">3,300単位時間／単位</td></tr>
<tr><td colspan="2">生徒総定員数</td><td>生徒実員</td><td>うち留学生数</td><td>専任教員数</td><td>兼任教員数</td><td>総教員数</td></tr>
<tr><td colspan="2">９０人</td><td>９２人</td><td>３人</td><td>４人</td><td>１人</td><td>５人</td></tr>
</table>

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
【様式第２号の３より再掲】 各科目担当者より授業目的、到達目標、使用テキスト、評価方法と基準、回数ごとの履修主題と内容を記載した授業計画（シラバス）案の提出を受け、学科会議にて認定を行う。 認定後に作成した授業計画（シラバス）と成績評価までの流れが理解できる履修のプロセスフローを学生に入学時に配布し公表をしている。
成績評価の基準・方法
【様式第２号の３より再掲】 授業計画（シラバス）に科目ごと評価方法、基準が明記されており、評価試験、レポート、小テスト、提出物、その他（授業態度等）にて適正に評価を行っている。 各科目担当教員における成績の評価は100点満点とし、点数によりA～Dに分類、うちA～Cを合格とし履修を認定している。 評価方法は定期試験、課題並びに学習活動等を総合的に勘案して行う。 「学則」及び「学則施行細則（教務内規）」に即し、以下、所定の時期に実施される各種判定会議において、学修成果を厳格かつ適正に評価し、校長の決裁で履修を認定する。 ・前期成績判定会議（9月下旬　全学生） ・卒業判定会議（3月上旬　卒業対象学生） ・進級判定会議（3月下旬　進級対象学生）
卒業・進級の認定基準
【様式第２号の３より再掲】 学則の他、卒業認定方針について定めた「学則施行規則（教務内規）」を学内全職員が参加する職員会議にて作成・承認される。学則とともに学生便覧へ明記し入学時に学生へ配布、提示している。 卒業の認定については、3月上旬に実施される卒業判定会議において、学修成果を厳格かつ適正に評価し履修を認定したうえで、以下を満たした場合に校長が卒業の認定または、課程の修了の決裁をしている。 ・授業料等の納入金が全納されていること ・各学科における所定の授業時間数を履修し、当該課程を修了したとき 「卒業の認定、課程の修了」の公表は、担任等から当該学生に通達される。
学修支援等
クラス担任制をとり早期段階で注意喚起、面接指導を実施。必要に応じ保護者との三者面談を通し学習意欲の向上を促す。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
２５人 （100%）	０人 （0%）	２１人 （84%）	４人 （16%）
（主な就職、業界等） ㈱グループボックスジャパン/㈱バサラ/㈱インフィニットループ/㈱ファースト・スクラッチ/㈱テクロス/㈱オルジェスタ			
（就職指導内容） クラス担任と就職担当者の連携により、業界研究・ポートフォリオ指導・エントリー指導・面接指導等を実施。また学校全体として実施の就職イベントに参加してモチベーション向上を図り就職活動を促す。			
（主な学修成果（資格・検定等）） Excel 表計算処理技能認定試験　２５名受験　２５名合格			
（備考）（任意記載事項） ○令和５年４月１日 学科名称変更 （新名称：ゲームクリエイター学科）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
８５人	５人	５．９％
（中途退学の主な理由） 進路変更、学校生活不適応、病気		
（中退防止・中退者支援のための取組） （学業不振者） 単位未取得になる可能性が高い者には補填授業等を行い、未取得者を増加させない取り組みをしている。 （その他） クラス担任等が細目に学生個々人に目を配り、生活の変化があった場合にはすぐに個別面談等を行う等、怠惰な学生を減少させる取組をしている。 外部機関へ委託のうえオンライン健康相談サービスを実施。心理士や精神科医が、学生の悩みへの対応を図っている。		

<table>
<tr><td colspan="2">分野</td><td>課程名</td><td colspan="2">学科名</td><td colspan="2">専門士</td><td colspan="2">高度専門士</td></tr>
<tr><td colspan="2">工業分野</td><td>専門課程</td><td colspan="2">ｹﾞｰﾑ学科</td><td colspan="2">○</td><td colspan="2">―</td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td rowspan="2">全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数</td><td colspan="6">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td colspan="2">実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">２年</td><td rowspan="2">昼間</td><td rowspan="2">1,860 時間
単位時間／単位</td><td>660
単位時間/単位</td><td>1,245
単位時間/単位</td><td>単位時間/単位</td><td>単位時間/単位</td><td colspan="2">単位時間/単位</td></tr>
<tr><td colspan="6">1,905 単位時間／単位</td></tr>
<tr><td colspan="2">生徒総定員数</td><td>生徒実員</td><td>うち留学生数</td><td colspan="2">専任教員数</td><td colspan="2">兼任教員数</td><td colspan="2">総教員数</td></tr>
<tr><td colspan="2">６０人</td><td>２２人</td><td>０人</td><td colspan="2">４人</td><td colspan="2">１人</td><td colspan="2">５人</td></tr>
</table>

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
【様式第２号の３より再掲】 各科目担当者より授業目的、到達目標、使用テキスト、評価方法と基準、回数ごとの履修主題と内容を記載した授業計画（シラバス）案の提出を受け、学科会議にて認定を行う。 認定後に作成した授業計画（シラバス）と成績評価までの流れが理解できる履修のプロセスフローを学生に入学時に配布し公表をしている。
成績評価の基準・方法
【様式第２号の３より再掲】 授業計画（シラバス）に科目ごと評価方法、基準が明記されており、評価試験、レポート、小テスト、提出物、その他（授業態度等）にて適正に評価を行っている。 各科目担当教員における成績の評価は 100 点満点とし、点数により A～D に分類、うち A～C を合格とし履修を認定している。 評価方法は定期試験、課題並びに学習活動等を総合的に勘案して行う。 「学則」及び「学則施行細則（教務内規）」に即し、以下、所定の時期に実施される各種判定会議において、学修成果を厳格かつ適正に評価し、校長の決裁で履修を認定する。 ・前期成績判定会議（9 月下旬　全学生） ・卒業判定会議（3 月上旬　卒業対象学生） ・進級判定会議（3 月下旬　進級対象学生）
卒業・進級の認定基準
【様式第２号の３より再掲】 学則の他、卒業認定方針について定めた「学則施行規則（教務内規）」を学内全職員が参加する職員会議にて作成・承認される。学則とともに学生便覧へ明記し入学時に学生へ配布、提示している。 卒業の認定については、3 月上旬に実施される卒業判定会議において、学修成果を厳格かつ適正に評価し履修を認定したうえで、以下を満たした場合に校長が卒業の認定または、課程の修了の決裁をしている。 ・授業料等の納入金が全納されていること ・各学科における所定の授業時間数を履修し、当該課程を修了したとき 「卒業の認定、課程の修了」の公表は、担任等から当該学生に通達される。
学修支援等
クラス担任制をとり早期段階で注意喚起、面接指導を実施。必要に応じ保護者との三者面談を通し学習意欲の向上を促す。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
１７人 （100%）	０人 （0%）	１５人 （88.2%）	２人 （11.8%）
（主な就職、業界等） ㈲ランカース/㈱バサラ/㈱マイティークラフト/㈱サイクロンゼロ			
（就職指導内容） クラス担任と就職担当者の連携により、業界研究・ポートフォリオ指導・エントリー指導・面接指導等を実施。また学校全体として実施の就職イベントに参加してモチベーション向上を図り就職活動を促す。			
（主な学修成果（資格・検定等）） Excel 表計算処理技能認定試験　１６名受験　１６名合格			
（備考）（任意記載事項） ○令和５年４月１日 学科名称・修業年限（２年制→３年制）変更 （新名称：ゲームエンジニア学科）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
３３人	５人	１５．２%
（中途退学の主な理由） 進路変更、学校生活不適応		
（中退防止・中退者支援のための取組） （学業不振者） 単位未取得になる可能性が高い者には補填授業等を行い、未取得者を増加させない取り組みをしている。 （その他） クラス担任等が細目に学生個々人に目を配り、生活の変化があった場合にはすぐに個別面談等を行う等、怠惰な学生を減少させる取組をしている。 外部機関へ委託のうえオンライン健康相談サービスを実施。心理士や精神科医が、学生の悩みへの対応を図っている。		

<table>
<tr><td colspan="2">分野</td><td>課程名</td><td colspan="2">学科名</td><td colspan="2">専門士</td><td colspan="2">高度専門士</td></tr>
<tr><td colspan="2">工業分野</td><td>専門課程</td><td colspan="2">AI ｼｽﾃﾑ学科</td><td colspan="2">○</td><td colspan="2">―</td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td rowspan="2">全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数</td><td colspan="6">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td>実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2年</td><td rowspan="2">昼間</td><td rowspan="2">1,950 時間
単位時間／単位</td><td>1,470
単位時間
/単位</td><td>1,140
単位時間
/単位</td><td>単位時間
/単位</td><td>単位時間
/単位</td><td>単位時間
/単位</td></tr>
<tr><td colspan="5">2,610 単位時間／単位</td></tr>
<tr><td colspan="2">生徒総定員数</td><td>生徒実員</td><td>うち留学生数</td><td>専任教員数</td><td>兼任教員数</td><td colspan="2">総教員数</td></tr>
<tr><td colspan="2">６０人</td><td>３８人</td><td>４人</td><td>３人</td><td>４人</td><td colspan="2">７人</td></tr>
</table>

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
【様式第２号の３より再掲】 各科目担当者より授業目的、到達目標、使用テキスト、評価方法と基準、回数ごとの履修主題と内容を記載した授業計画（シラバス）案の提出を受け、学科会議にて認定を行う。 認定後に作成した授業計画（シラバス）と成績評価までの流れが理解できる履修のプロセスフローを学生に入学時に配布し公表をしている。
成績評価の基準・方法
【様式第２号の３より再掲】 授業計画（シラバス）に科目ごと評価方法、基準が明記されており、評価試験、レポート、小テスト、提出物、その他（授業態度等）にて適正に評価を行っている。 各科目担当教員における成績の評価は 100 点満点とし、点数により A～D に分類、うち A～C を合格とし履修を認定している。 評価方法は定期試験、課題並びに学習活動等を総合的に勘案して行う。 「学則」及び「学則施行細則（教務内規）」に即し、以下、所定の時期に実施される各種判定会議において、学修成果を厳格かつ適正に評価し、校長の決裁で履修を認定する。 ・前期成績判定会議（9 月下旬　全学生） ・卒業判定会議（3 月上旬　卒業対象学生） ・進級判定会議（3 月下旬　進級対象学生）
卒業・進級の認定基準
【様式第２号の３より再掲】 学則の他、卒業認定方針について定めた「学則施行規則（教務内規）」を学内全職員が参加する職員会議にて作成・承認される。学則とともに学生便覧へ明記し入学時に学生へ配布、提示している。 卒業の認定については、3 月上旬に実施される卒業判定会議において、学修成果を厳格かつ適正に評価し履修を認定したうえで、以下を満たした場合に校長が卒業の認定または、課程の修了の決裁をしている。 ・授業料等の納入金が全納されていること ・各学科における所定の授業時間数を履修し、当該課程を修了したとき 「卒業の認定、課程の修了」の公表は、担任等から当該学生に通達される。
学修支援等
クラス担任制をとり早期段階で注意喚起、面接指導を実施。必要に応じ保護者との三者面談を通し学習意欲の向上を促す。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
１６人 (100%)	０人 (0%)	１５人 (93.8%)	１人 (6.2%)

（主な就職、業界等）
日本ソフト技研㈱/日研トータルソーシング㈱/ INTLOOP㈱/インフォテクノ㈱/㈱フラワーヒルズ/㈱TakeFunSystem/㈱VTI ジャパン/マンパワー㈱/㈱北海道総合技術研究所/㈱日本プレースメントセンター/㈱アウトソーシングテクノロジー/クリプトン・フューチャー・メディア/㈱アーベルソフト

（就職指導内容）
クラス担任と就職担当者の連携により、業界研究・ポートフォリオ指導・エントリー指導・面接指導等を実施。また学校全体として実施の就職イベントに参加してモチベーション向上を図り就職活動を促す。

（主な学修成果（資格・検定等））
Oracle Java SE 7/8 Bronze　１６名受験　６名合格
Python 3 エンジニア認定基礎試験　１５名受験　９名合格

（備考）（任意記載事項）
○令和５年４月１日 学科名称・修業年限（２年制→３年制）変更
（新名称：ＤＸエンジニア学科）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
３８人	１人	２．６％

（中途退学の主な理由）
病気

（中退防止・中退者支援のための取組）
（学業不振者）
単位未取得になる可能性が高い者には補填授業等を行い、未取得者を増加させない取り組みをしている。
（その他）
クラス担任等が細目に学生個々人に目を配り、生活の変化があった場合にはすぐに個別面談等を行う等、怠惰な学生を減少させる取組をしている。
外部機関へ委託のうえオンライン健康相談サービスを実施。心理士や精神科医が、学生の悩みへの対応を図っている。

<table>
<tr><td colspan="2">分野</td><td>課程名</td><td colspan="2">学科名</td><td>専門士</td><td>高度専門士</td></tr>
<tr><td colspan="2">工業分野</td><td>専門課程</td><td colspan="2">情報ｼｽﾃﾑ学科</td><td>○</td><td>―</td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td rowspan="2">全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数</td><td colspan="5">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td>実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">２年</td><td rowspan="2">昼間</td><td rowspan="2">1,830 時間
単位時間／単位</td><td>855
単位時間/単位</td><td>1,046
単位時間/単位</td><td>単位時間/単位</td><td>単位時間/単位</td><td>単位時間/単位</td></tr>
<tr><td colspan="5">1,901 単位時間／単位</td></tr>
</table>

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
８０人	６３人	３人	３人	４人	７人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

【様式第２号の３より再掲】
各科目担当者より授業目的、到達目標、使用テキスト、評価方法と基準、回数ごとの履修主題と内容を記載した授業計画（シラバス）案の提出を受け、学科会議にて認定を行う。
認定後に作成した授業計画（シラバス）と成績評価までの流れが理解できる履修のプロセスフローを学生に入学時に配布し公表をしている。

成績評価の基準・方法

【様式第２号の３より再掲】
授業計画（シラバス）に科目ごと評価方法、基準が明記されており、評価試験、レポート、小テスト、提出物、その他（授業態度等）にて適正に評価を行っている。
各科目担当教員における成績の評価は 100 点満点とし、点数により A～D に分類、うち A～C を合格とし履修を認定している。
評価方法は定期試験、課題並びに学習活動等を総合的に勘案して行う。
「学則」及び「学則施行細則（教務内規）」に即し、以下、所定の時期に実施される各種判定会議において、学修成果を厳格かつ適正に評価し、校長の決裁で履修を認定する。
・前期成績判定会議（9 月下旬　全学生）
・卒業判定会議（3 月上旬　卒業対象学生）
・進級判定会議（3 月下旬　進級対象学生）

卒業・進級の認定基準

【様式第２号の３より再掲】
学則の他、卒業認定方針について定めた「学則施行規則（教務内規）」を学内全職員が参加する職員会議にて作成・承認される。学則とともに学生便覧へ明記し入学時に学生へ配布、提示している。
卒業の認定については、3 月上旬に実施される卒業判定会議において、学修成果を厳格かつ適正に評価し履修を認定したうえで、以下を満たした場合に校長が卒業の認定または、課程の修了の決裁をしている。
・授業料等の納入金が全納されていること
・各学科における所定の授業時間数を履修し、当該課程を修了したとき
「卒業の認定、課程の修了」の公表は、担任等から当該学生に通達される。

学修支援等

クラス担任制をとり早期段階で注意喚起、面接指導を実施。必要に応じ保護者との三者面談を通し学習意欲の向上を促す。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
２７人 （100%）	１人 （3.7%）	２２人 （81.5%）	４人 （14.8%）
（主な就職、業界等） ㈱シーズ/グリーンエキスプレス㈱/マンパワー㈱/㈱アウトソーシングテクノロジー/日本アイ・ビー・エムデジタルサービス㈱/インフォテクノ㈱/㈱コンピュータ・ビジネス/㈱アーベルソフト/㈱日本システムクリエイター/㈱LIFESYNC/㈱ソルテック/フラワーヒルズ㈱/㈱NTT データ MSE/㈱デジタルブレイン/㈱クロスポイントソリュージョン			
（就職指導内容） クラス担任と就職担当者の連携により、業界研究・ポートフォリオ指導・エントリー指導・面接指導等を実施。また学校全体として実施の就職イベントに参加してモチベーション向上を図り就職活動を促す。			
（主な学修成果（資格・検定等）） Oracle Java SE 7/8 Bronze　２７名受験　３名合格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
７３人	６人	８．２%
（中途退学の主な理由） 病気、進路変更、経済的理由、学校生活不適応、就職		
（中退防止・中退者支援のための取組） （学業不振者） 単位未取得になる可能性が高い者には補填授業等を行い、未取得者を増加させない取り組みをしている。 （その他） クラス担任等が細目に学生個々人に目を配り、生活の変化があった場合にはすぐに個別面談等を行う等、怠惰な学生を減少させる取組をしている。 外部機関へ委託のうえオンライン健康相談サービスを実施。心理士や精神科医が、学生の悩みへの対応を図っている。		

<table>
<tr><td colspan="2">分野</td><td>課程名</td><td colspan="2">学科名</td><td>専門士</td><td>高度専門士</td></tr>
<tr><td colspan="2">工業分野</td><td>専門課程</td><td colspan="2">DX ｴﾝｼﾞﾆｱ学科</td><td>○</td><td>―</td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td rowspan="2">全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数</td><td colspan="5">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td>実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3 年</td><td rowspan="2">昼間</td><td rowspan="2">2,610 時間
単位時間／単位</td><td>1,530
単位時間
/単位</td><td>1,080
単位時間
/単位</td><td>単位時間
/単位</td><td>単位時間
/単位</td><td>単位時間
/単位</td></tr>
<tr><td colspan="5">2,610 単位時間／単位</td></tr>
<tr><td colspan="2">生徒総定員数</td><td>生徒実員</td><td>うち留学生数</td><td>専任教員数</td><td>兼任教員数</td><td>総教員数</td></tr>
<tr><td colspan="2">９０人</td><td>３８人</td><td>４人</td><td>３人</td><td>４人</td><td>７人</td></tr>
</table>

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
【様式第２号の３より再掲】 各科目担当者より授業目的、到達目標、使用テキスト、評価方法と基準、回数ごとの履修主題と内容を記載した授業計画（シラバス）案の提出を受け、学科会議にて認定を行う。 認定後に作成した授業計画（シラバス）と成績評価までの流れが理解できる履修のプロセスフローを学生に入学時に配布し公表をしている。
成績評価の基準・方法
【様式第２号の３より再掲】 授業計画（シラバス）に科目ごと評価方法、基準が明記されており、評価試験、レポート、小テスト、提出物、その他（授業態度等）にて適正に評価を行っている。 各科目担当教員における成績の評価は 100 点満点とし、点数により A～D に分類、うち A～C を合格とし履修を認定している。 評価方法は定期試験、課題並びに学習活動等を総合的に勘案して行う。 「学則」及び「学則施行細則（教務内規）」に即し、以下、所定の時期に実施される各種判定会議において、学修成果を厳格かつ適正に評価し、校長の決裁で履修を認定する。 ・前期成績判定会議（9 月下旬　全学生） ・卒業判定会議（3 月上旬　卒業対象学生） ・進級判定会議（3 月下旬　進級対象学生）
卒業・進級の認定基準
【様式第２号の３より再掲】 学則の他、卒業認定方針について定めた「学則施行規則（教務内規）」を学内全職員が参加する職員会議にて作成・承認される。学則とともに学生便覧へ明記し入学時に学生へ配布、提示している。 卒業の認定については、3 月上旬に実施される卒業判定会議において、学修成果を厳格かつ適正に評価し履修を認定したうえで、以下を満たした場合に校長が卒業の認定または、課程の修了の決裁をしている。 ・授業料等の納入金が全納されていること ・各学科における所定の授業時間数を履修し、当該課程を修了したとき 「卒業の認定、課程の修了」の公表は、担任等から当該学生に通達される。
学修支援等
クラス担任制をとり早期段階で注意喚起、面接指導を実施。必要に応じ保護者との三者面談を通し学習意欲の向上を促す。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
１６人 （100%）	０人 （0%）	１５人 （93.8%）	１人 （6.2%）

（主な就職、業界等）
日本ソフト技研㈱/日研トータルソーシング㈱/ INTLOOP㈱/インフォテクノ㈱/㈱フラワーヒルズ/㈱TakeFunSystem/㈱VTI ジャパン/マンパワー㈱/㈱北海道総合技術研究所/㈱日本プレースメントセンター/㈱アウトソーシングテクノロジー/クリプトン・フューチャー・メディア/㈱アーベルソフト

（就職指導内容）
クラス担任と就職担当者の連携により、業界研究・ポートフォリオ指導・エントリー指導・面接指導等を実施。また学校全体として実施の就職イベントに参加してモチベーション向上を図り就職活動を促す。

（主な学修成果（資格・検定等））
Oracle Java SE 7/8 Bronze　１６名受験　６名合格
Python 3 エンジニア認定基礎試験　１５名受験　９名合格

（備考）（任意記載事項）
○令和５年４月１日学科名称・修業年限（２年制→３年制）変更
（旧名称：AI システム学科）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
３８人	１人	２．６％

（中途退学の主な理由）
病気

（中退防止・中退者支援のための取組）
（学業不振者）
単位未取得になる可能性が高い者には補填授業等を行い、未取得者を増加させない取り組みをしている。
（その他）
クラス担任等が細目に学生個々人に目を配り、生活の変化があった場合にはすぐに個別面談等を行う等、怠惰な学生を減少させる取組をしている。
外部機関へ委託のうえオンライン健康相談サービスを実施。心理士や精神科医が、学生の悩みへの対応を図っている。

<table>
<tr><td colspan="2">分野</td><td>課程名</td><td colspan="2">学科名</td><td>専門士</td><td>高度専門士</td></tr>
<tr><td colspan="2">工業分野</td><td>専門課程</td><td colspan="2">ｹﾞｰﾑｸﾘｴｲﾀｰ学科</td><td>○</td><td>―</td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td rowspan="2">全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数</td><td colspan="5">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td>実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3年</td><td rowspan="2">昼間</td><td rowspan="2">2,580時間
単位時間／単位</td><td>840
単位時間
/単位</td><td>1,740
単位時間
/単位</td><td>単位時間
/単位</td><td>単位時間
/単位</td><td>単位時間
/単位</td></tr>
<tr><td colspan="5">2,580単位時間／単位</td></tr>
</table>

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
９０人	９２人	３人	４人	１人	５人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

【様式第２号の３より再掲】
各科目担当者より授業目的、到達目標、使用テキスト、評価方法と基準、回数ごとの履修主題と内容を記載した授業計画（シラバス）案の提出を受け、学科会議にて認定を行う。
認定後に作成した授業計画（シラバス）と成績評価までの流れが理解できる履修のプロセスフローを学生に入学時に配布し公表をしている。

成績評価の基準・方法

【様式第２号の３より再掲】
授業計画（シラバス）に科目ごと評価方法、基準が明記されており、評価試験、レポート、小テスト、提出物、その他（授業態度等）にて適正に評価を行っている。
各科目担当教員における成績の評価は100点満点とし、点数によりA～Dに分類、うちA～Cを合格とし履修を認定している。
評価方法は定期試験、課題並びに学習活動等を総合的に勘案して行う。
「学則」及び「学則施行細則（教務内規）」に即し、以下、所定の時期に実施される各種判定会議において、学修成果を厳格かつ適正に評価し、校長の決裁で履修を認定する。
・前期成績判定会議（9月下旬　全学生）
・卒業判定会議（3月上旬　卒業対象学生）
・進級判定会議（3月下旬　進級対象学生）

卒業・進級の認定基準

【様式第２号の３より再掲】
学則の他、卒業認定方針について定めた「学則施行規則（教務内規）」を学内全職員が参加する職員会議にて作成・承認される。学則とともに学生便覧へ明記し入学時に学生へ配布、提示している。
卒業の認定については、3月上旬に実施される卒業判定会議において、学修成果を厳格かつ適正に評価し履修を認定したうえで、以下を満たした場合に校長が卒業の認定または、課程の修了の決裁をしている。
・授業料等の納入金が全納されていること
・各学科における所定の授業時間数を履修し、当該課程を修了したとき
「卒業の認定、課程の修了」の公表は、担任等から当該学生に通達される。

学修支援等

クラス担任制をとり早期段階で注意喚起、面接指導を実施。必要に応じ保護者との三者面談を通し学習意欲の向上を促す。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
２５人 （100%）	０人 （0%）	２１人 （84%）	４人 （16%）

（主な就職、業界等）
㈱グループボックスジャパン/㈱バサラ/㈱インフィニットループ/㈱ファースト･スクラッチ/㈱テクロス/㈱オルジェスタ

（就職指導内容）
クラス担任と就職担当者の連携により、業界研究・ポートフォリオ指導・エントリー指導・面接指導等を実施。また学校全体として実施の就職イベントに参加してモチベーション向上を図り就職活動を促す。

（主な学修成果（資格・検定等））
Excel 表計算処理技能認定試験　２５名受験　２５名合格

（備考）（任意記載事項）
○令和５年４月１日名称変更
（旧名称：ゲームスペシャリスト学科）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
８５人	５人	５．９％

（中途退学の主な理由）
進路変更、学校生活不適応、病気

（中退防止・中退者支援のための取組）
（学業不振者）
単位未取得になる可能性が高い者には補填授業等を行い、未取得者を増加させない取り組みをしている。
（その他）
クラス担任等が細目に学生個々人に目を配り、生活の変化があった場合にはすぐに個別面談等を行う等、怠惰な学生を減少させる取組をしている。
外部機関へ委託のうえオンライン健康相談サービスを実施。心理士や精神科医が、学生の悩みへの対応を図っている。

<table>
<tr><td colspan="2">分野</td><td>課程名</td><td colspan="2">学科名</td><td colspan="2">専門士</td><td colspan="2">高度専門士</td></tr>
<tr><td colspan="2">工業分野</td><td>専門課程</td><td colspan="2">ｹﾞｰﾑｴﾝｼﾞﾆｱ学科</td><td colspan="2">○</td><td colspan="2">―</td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td rowspan="2">全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数</td><td colspan="7">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td>実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3年</td><td rowspan="2">昼間</td><td rowspan="2">2,610時間
単位時間／単位</td><td>1,290
単位時間
/単位</td><td>1,380
単位時間
/単位</td><td>単位時間
/単位</td><td>単位時間
/単位</td><td>単位時間
/単位</td></tr>
<tr><td colspan="5">2,670単位時間／単位</td></tr>
</table>

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
９０人	２２人	０人	４人	１人	５人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

【様式第２号の３より再掲】
各科目担当者より授業目的、到達目標、使用テキスト、評価方法と基準、回数ごとの履修主題と内容を記載した授業計画（シラバス）案の提出を受け、学科会議にて認定を行う。
認定後に作成した授業計画（シラバス）と成績評価までの流れが理解できる履修のプロセスフローを学生に入学時に配布し公表をしている。

成績評価の基準・方法

【様式第２号の３より再掲】
授業計画（シラバス）に科目ごと評価方法、基準が明記されており、評価試験、レポート、小テスト、提出物、その他（授業態度等）にて適正に評価を行っている。
各科目担当教員における成績の評価は100点満点とし、点数によりA～Dに分類、うちA～Cを合格とし履修を認定している。
評価方法は定期試験、課題並びに学習活動等を総合的に勘案して行う。
「学則」及び「学則施行細則（教務内規）」に即し、以下、所定の時期に実施される各種判定会議において、学修成果を厳格かつ適正に評価し、校長の決裁で履修を認定する。
・前期成績判定会議（9月下旬　全学生）
・卒業判定会議（3月上旬　卒業対象学生）
・進級判定会議（3月下旬　進級対象学生）

卒業・進級の認定基準

【様式第２号の３より再掲】
学則の他、卒業認定方針について定めた「学則施行規則（教務内規）」を学内全職員が参加する職員会議にて作成・承認される。学則とともに学生便覧へ明記し入学時に学生へ配布、提示している。
卒業の認定については、3月上旬に実施される卒業判定会議において、学修成果を厳格かつ適正に評価し履修を認定したうえで、以下を満たした場合に校長が卒業の認定または、課程の修了の決裁をしている。
・授業料等の納入金が全納されていること
・各学科における所定の授業時間数を履修し、当該課程を修了したとき
「卒業の認定、課程の修了」の公表は、担任等から当該学生に通達される。

学修支援等

クラス担任制をとり早期段階で注意喚起、面接指導を実施。必要に応じ保護者との三者面談を通し学習意欲の向上を促す。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
１７人 （100%）	０人 （0%）	１５人 （88.2%）	２人 （11.8%）
（主な就職、業界等） ㈲ランカース/㈱バサラ/㈱マイティークラフト/㈱サイクロンゼロ			
（就職指導内容） クラス担任と就職担当者の連携により、業界研究・ポートフォリオ指導・エントリー指導・面接指導等を実施。また学校全体として実施の就職イベントに参加してモチベーション向上を図り就職活動を促す。			
（主な学修成果（資格・検定等）） Excel 表計算処理技能認定試験　１６名受験　１６名合格			
（備考）（任意記載事項） ○令和５年４月１日学科名称・修業年限（２年制→３年制）変更 （旧名称：ゲーム学科）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
３３人	５人	１５．２%
（中途退学の主な理由） 進路変更、学校生活不適応		
（中退防止・中退者支援のための取組） （学業不振者） 単位未取得になる可能性が高い者には補填授業等を行い、未取得者を増加させない取り組みをしている。 （その他） クラス担任等が細目に学生個々人に目を配り、生活の変化があった場合にはすぐに個別面談等を行う等、怠惰な学生を減少させる取組をしている。 外部機関へ委託のうえオンライン健康相談サービスを実施。心理士や精神科医が、学生の悩みへの対応を図っている。		

<table>
<tr><td colspan="2">分野</td><td>課程名</td><td colspan="2">学科名</td><td colspan="2">専門士</td><td colspan="2">高度専門士</td></tr>
<tr><td colspan="2">工業分野</td><td>専門課程</td><td colspan="2">CG 学科</td><td colspan="2">○</td><td colspan="2">―</td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td rowspan="2">全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数</td><td colspan="6">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td>実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3 年</td><td rowspan="2">昼間</td><td rowspan="2">2,610 時間
単位時間／単位</td><td>810
単位時間
/単位</td><td>1,800
単位時間
/単位</td><td>単位時間
/単位</td><td>単位時間
/単位</td><td>単位時間
/単位</td></tr>
<tr><td colspan="5">2,610 単位時間／単位</td></tr>
</table>

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
９０人	５６人	１人	２人	３人	５人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

【様式第２号の３より再掲】
各科目担当者より授業目的、到達目標、使用テキスト、評価方法と基準、回数ごとの履修主題と内容を記載した授業計画（シラバス）案の提出を受け、学科会議にて認定を行う。
認定後に作成した授業計画（シラバス）と成績評価までの流れが理解できる履修のプロセスフローを学生に入学時に配布し公表をしている。

成績評価の基準・方法

【様式第２号の３より再掲】
授業計画（シラバス）に科目ごと評価方法、基準が明記されており、評価試験、レポート、小テスト、提出物、その他（授業態度等）にて適正に評価を行っている。
各科目担当教員における成績の評価は 100 点満点とし、点数により A～D に分類、うち A～C を合格とし履修を認定している。
評価方法は定期試験、課題並びに学習活動等を総合的に勘案して行う。
「学則」及び「学則施行細則（教務内規）」に即し、以下、所定の時期に実施される各種判定会議において、学修成果を厳格かつ適正に評価し、校長の決裁で履修を認定する。
・前期成績判定会議（9 月下旬　全学生）
・卒業判定会議（3 月上旬　卒業対象学生）
・進級判定会議（3 月下旬　進級対象学生）

卒業・進級の認定基準

【様式第２号の３より再掲】
学則の他、卒業認定方針について定めた「学則施行規則（教務内規）」を学内全職員が参加する職員会議にて作成・承認される。学則とともに学生便覧へ明記し入学時に学生へ配布、提示している。
卒業の認定については、3 月上旬に実施される卒業判定会議において、学修成果を厳格かつ適正に評価し履修を認定したうえで、以下を満たした場合に校長が卒業の認定または、課程の修了の決裁をしている。
・授業料等の納入金が全納されていること
・各学科における所定の授業時間数を履修し、当該課程を修了したとき
「卒業の認定、課程の修了」の公表は、担任等から当該学生に通達される。

学修支援等

クラス担任制をとり早期段階で注意喚起、面接指導を実施。必要に応じ保護者との三者面談を通し学習意欲の向上を促す。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
３１人 （100%）	０人 （0%）	２７人 （87.1%）	４人 （12.9%）
（主な就職、業界等） ㈱ＥＮＧＩ/㈱Ｄ１/㈱ウタリカ/㈱武右ェ門/東映㈱デジタルセンターツークン研究所/㈱アレクト/㈱インファイト/㈱セガ札幌スタジオ/ J’s㈱/㈱ダイノゲームズ/㈱サンジゲン/㈱ジースタイル/㈱エイティング/㈱ＭＡＰＰＡ			
（就職指導内容） クラス担任と就職担当者の連携により、業界研究・ポートフォリオ指導・エントリー指導・面接指導等を実施。また学校全体として実施の就職イベントに参加してモチベーション向上を図り就職活動を促す。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ＣＧクリエイター検定ベーシック　２８名受験　１６名合格			
（備考）（任意記載事項） ○令和５年４月１日学科名称・修業年限（２年制→３年制）変更 （旧名称：コンピュータグラフィックス学科）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
５７人	３人	５．３%
（中途退学の主な理由） 病気、学校生活不適応		
（中退防止・中退者支援のための取組） （学業不振者） 単位未取得になる可能性が高い者には補填授業等を行い、未取得者を増加させない取り組みをしている。 （その他） クラス担任等が細目に学生個々人に目を配り、生活の変化があった場合にはすぐに個別面談等を行う等、怠惰な学生を減少させる取組をしている。 外部機関へ委託のうえオンライン健康相談サービスを実施。心理士や精神科医が、学生の悩みへの対応を図っている。		

②学校単位の情報

ａ）「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｸﾞﾗﾌｨｯｸｽ学科	100,000 円	820,000 円	220,000 円	入学検定料、教育充実費
ｹﾞｰﾑｽﾍﾟｼｬﾘｽﾄ学科	100,000 円	820,000 円	220,000 円	入学検定料、教育充実費
ｹﾞｰﾑ学科	100,000 円	820,000 円	220,000 円	入学検定料、教育充実費
AI ｼｽﾃﾑ学科	100,000 円	700,000 円	220,000 円	入学検定料、教育充実費
情報ｼｽﾃﾑ学科	100,000 円	700,000 円	220,000 円	入学検定料、教育充実費
ｹﾞｰﾑｸﾘｴｲﾀｰ学科	100,000 円	820,000 円	220,000 円	入学検定料、教育充実費
ｹﾞｰﾑｴﾝｼﾞﾆｱ学科	100,000 円	820,000 円	220,000 円	入学検定料、教育充実費
CG 学科	100,000 円	820,000 円	220,000 円	入学検定料、教育充実費
DX ｴﾝｼﾞﾆｱ学科	100,000 円	700,000 円	220,000 円	入学検定料、教育充実費
修学支援（任意記載事項）				

ｂ）学校評価

自己評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://yoshida-g.ac.jp/disclosure/jobi/		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
学校関係者評価委員会は、卒業生、保護者、地域住民、提携企業等の役職員 2 名以上により構成する。当該委員会は原則次の事項について意見・評価を行い、当該委員会においての意見・評価については、自己点検・評価の結果と共に真摯に受け止め、必要な改善に努め、学校運営や教育実践力等の向上を図ることを基本方針とする。 ・教育理念・目標 ・学校運営 ・教育活動 ・学修成果 ・学生支援 ・教育環境 ・学生の受け入れ募集 ・財務状況 ・法令等の遵守 ・社会貢献・地域貢献・交際交流等		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
北 15 東 6 親交会	令和 5 年 4 月 1 日～ 令和 7 年 3 月 31 日(2 年)	地域住民
株式会社テクタス　代表取締役	令和 5 年 4 月 1 日～ 令和 7 年 3 月 31 日(2 年)	企業等委員・卒業生
保護者	令和 5 年 4 月 1 日～ 令和 7 年 3 月 31 日(2 年)	PTA

学校関係者評価結果の公表方法
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://yoshida-g.ac.jp/disclosure/jobi/
第三者による学校評価（任意記載事項）

ｃ）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://yoshida-g.ac.jp/disclosure/jobi/

（別紙）

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	H101310300047
学校名	吉田学園情報ビジネス専門学校
設置者名	学校法人吉田学園

１．前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		57人	55人	58人
内訳	第Ⅰ区分	33人	37人	
	第Ⅱ区分	17人	13人	
	第Ⅲ区分	7人	5人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				58人
（備考）				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第４９号）第２条第１項第１号、第２号、第３号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

２．前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（１）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定		0人	0人
修得単位数が標準単位数の５割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の５割以下）		0人	0人
出席率が５割以下その他学修意欲が著しく低い状況		0人	0人
「警告」の区分に連続して該当		0人	0人
計		0人	0人
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（２）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）			
年間		前半期	0人	後半期	0人

（３）退学又は停学（期間の定めのないもの又は３月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	2人
３月以上の停学	0人
年間計	2人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

３．前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（３月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

３月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

４．適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の６割以下（単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の６割以下）		0人	0人
ＧＰＡ等が下位４分の１		0人	0人
出席率が８割以下その他学修意欲が低い状況		0人	0人
計			
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。